

里山コモンズクラブ通信 2018 春夏号

みなみやま

Satoyama Commons Club News MINAMIYAMA

NPO
南山の
く自然を
守り育てる会

里山コモンズクラブ
通信「みなみやま」は
NPO 法人南山の自然
を守り育てる会の活
動案内です。
<http://ina-mina.com/>

●お問い合わせ先

発行・責任者: 梁川貴司、編集・責任者: 小部正人

「竹の子掘りと竹林整備」



今年もエリアマネジメント南山から管理委託を受けている当会が管理する南山の竹林で竹の子掘りを開催しました。初回は、4月22日、その後、4月29日、5月6日と行いました。例年通りの開催ですが、今年は、東京の桜の満開が早かったように春の訪れが1週間ほど前倒しとなり、4月22日には竹の子は1m以上に成長しているものもありました。

二十四節気は、啓蟄や春分を何月何日と定めるのですが、毎年毎年の季節変動はバラツキがあり、規則正しく暦日どおりには変化してくれません。今年の竹の子掘りは、竹の子の生育からみると後ろにずれた開催となりました。

竹林は、毎年、竹の子を人々に恵んでくれますが、自然に任せておけば美味しい竹の子は得られるのでしょうか？ 残念ながら違います。近年、話題になっていることに、安価な化成品の流通で人々が生活の中に竹を利用する機会が減り、竹林が放置されていることがあります。竹は、以前、生活用品の素材として日用品のざる、かご、おけ、竹箒、垣根など様々な用途に利用されてきましたが、近年は減ってきています。単純な経済の仕組みから暮らしに必要な竹の子が手入れされなくなり、荒れてきています。

人々の手入れから見放された竹林は、どうなるでしょう。新しく生えてきた竹がそれまでのものに加わり密集したり、枯れた竹が放置されたりして、地面まで太陽光が届かなくなります。竹は種の維持のために外周部へと地下茎を伸ばしていき、周辺の畑や林を侵食していきます。これが放置された竹林で起きていることです。

南山の自然を守り育てる会が管理している竹林は、放置された竹林と同じようにならないように、年に何度か有志により古い竹や重なっている竹を間引きし、日当たりを良くし、定期的に肥料を散布して、翌年の恵みが得られるように整備しています。(小部)



12月の整備前の竹林



今年の竹の子

「南山小学校の土曜参観」

去る七夕の日、7月7日午前南山の奥畑公園予定地周辺にて、南山小学校の2, 3, 6年生の見学会が行われた。参加児童は合計7学級で約100名。参加者はクラスごとに、父兄と共に公園管理事務所、植栽現場、そしてウッドデッキのある丘の上を交代で廻った。

「南山の自然を守り育てる会」からは、会としての取り組みなどを紹介。ウッドデッキに集まった皆に、オオタカとトウキョウサンショウウオの保護活動、里山の雑木林管理の大切さなどを解りやすく小学生の皆に伝えた。しかし児童の何人かは説明そっちのけで、周りの林や草地で跳ねているバッタやハムシ、蝶などの昆虫や花などに目を奪われていたのは、まあ仕方ない事か。

この日の天気は幸い薄曇りで風もあり、暑さも程々であった。管理事務所付近から



展望デッキに上った子供達

展望デッキのある尾根上までの長く狭い階段は大人でも息が切れるほどだが、児童みんなは楽しげに登っていた。今回参加した子どもや大人たちの中から、今後も里山を保つ活動などに参加してくれる人が現れる事を願いたい。(桜井)



展望デッキ周辺

雑記帳

ガマガエルをみたことがあるだろうか？南山にもガマガエルはいる。南山が開発されるのでその前に絶滅危惧種になっているトウキョウサンショウウオを保護して仮設池に引越させさせた。その池にちやっかりとガマガエルが住み着いている。多いときは5〜6匹いる。まるで、ガマガエルの池だ。トウキョウサンショウウオを食べてしまうので見つけ次第、外に出しているが、私たちがいなくなるのをじっと待っているようだ。

ところ変わるが3月5日に押立の公園を夕方通りかかると水のなくなった水路になにやらうごめくものが。7ヨほどのガマガエルだった。まわりには猫達は捕ろうともせずガマガエルは水路の中に消えていった。ガマガエルは鼓膜の後ろにある耳腺と皮膚のイボから毒をだし、その毒はネコを死にいたらしめるほどだという。猫もそれをしてるのか？

翌日の3月6日、梨畑に沿った道の中ほどに大きめのガマガエルが片手足を投げ出して動かないでいる。おしりを足で押し通しても動かない。死んでいるのだろうと思いついて車をペシャンコにされては大変と思いき返したがもうそこにはいなかった。死んだふりをしていたのだろうか？

ちなみに3月7日は啓蟄(冬ごもりの虫が出てくる日)だった。
*ガマガエル、ヒキガエル、イボガエルは呼び名が違うだけで同じカエルです。(木場)



ニホンヒキガエル(ウィキペディアより)

新会員の仲間募集

里山保全活動やオオタカ、サンショウウオの希少種調査など、会員として一緒に活動しませんか？

場所: 稲城市城山体験学習館 学習室 毎月第1日曜日 13時から運営会
入会申込先: NPO南山の自然を守り育てる会
事務局: 梁川(やながわ) 携帯090-6658-7611
メールアドレス minamiyama@gmail.plala.or.jp

会報記事提供のお願い

普段、何かと忙しくて会活動にあまり参画できない！！でも少しは会に貢献したい！！そんな会員の方はおられませんか？私たちの会報を皆さんの力でもっと充実させませんか？何でも結構ですので、記事の提供をお待ちしています^^ 広報担当 小部